

人と自然と文化にやさしい地域づくり

# 山口県教育

*Education of the Yamaguchi prefecture*

明日を拓く — 成果を検証する —

7

令和3年 No.1313



令和2年度 第73回山口県学校美術展 推奨作品  
「元気なヒマワリと3年生たち ~ヒマワリは2mをこしたよ~」  
萩市立三見小中学校 3年(受賞時) 中村 優樹

一般財団法人 山口県教育会

〒753-0072 山口市大手町2-18 TEL 083-922-0383 FAX 083-922-5768

URL <http://www.ykyoikuk.or.jp> E-mail [ykyoikuk@ruby.ocn.ne.jp](mailto:ykyoikuk@ruby.ocn.ne.jp)

明治36年4月第1号 毎月1日発行 発行人 会長: 倉増誠彦/編集長: 西岡 尚



あなたのアクションは…

山口県教育会がすすめる  
「元気やまぐち」三つのアクション

- ◎あいさつ 返事で 明るいやまぐち
- ◎笑顔でつなぐ 安心やまぐち
- ◎ゴミ 落書きのない 美しいやまぐち



# やまぐちの偉人に学ぶ

## 毛利家にみる家庭教育



下関市立歴史博物館

学芸員 田 中 洋 一

### 父親と母親の役割

そこで、大事な役割を担っていたのが、元就の正室で三人の母親である妙玖でした。

元就是「内をは母親を以ておさめ、外をは父親を以て治候と申金言、すこしもたかはす候までにて候」（内を母親が治め、外を父親が治めるという金言は、少しも違ないです）という言葉を残しています。父親の元就が調略や戦などに軸を置き、妙玖は家事・養育ばかりでなく、毛利家を中心とした吉川家・小早川家・宍戸家などの結束に尽力したのでしょう。

三本の矢に例えられるなど、兄弟や家の団結のシンボルとして名前がある毛利家。そこで、結束に大きく寄与した毛利家の家庭教育を少し紹介します。

### 親子・兄弟が疎遠になる

戦国時代の毛利家。その当主であつた毛利元就是、親子関係、そして息子同士の関係がしつくりしていなかつたことに危機感を抱いていました。

毛利隆元（元就の長男）から弟の吉川元春（元就の二男）・小早川隆景（元就の三男）が自分の真意を汲んでくれないことを相談された元就是、以下のように答えていました。

・隆景が私（元就）を遠ざけているので腹が立つていいことから、親子、兄弟の関係が疎遠になつていい様子がうかがえます。

### 三人の団結を促す

そのため、元就是隆元・元春・隆景に対し、ことあるごとに兄弟の在り方を示しています。

まず、長男である隆元。元春・隆景と自身の意見が異なつていた場合、ひたすらに親心をもつて堪忍するよう教えています。隆元へ親のような気遣いで、弟に接するよう求めたと思われます。

一方、元春・隆景には、兄の隆元と考えが違つていたとしても、従わなければいけないと話しています。兄とは言え、親と同様に尊敬の念を抱くよう促したと考えられます。

元就是、三人の仲が少しでも悪くなれば、必ず三家が滅亡することを繰り返し話していたようで、兄弟三人がお互いを尊重する関係性の構築が大事であると認識していたようです。

ぜひ、みなさんも毛利家の教育から、現在、未来の教育を考えみてはいかがでしょうか。

### アプロフィール（概要）

昭和53年（1978）防府市生まれ。山口県（下関市を中心）をフィールドとし、主に日本近世史（江戸時代（幕末維新））を研究。研究業績として、著書『毛利秀元拾遺譜—元就の再来—』、論文『慶応二年一月の薩長会談に關する一考察』などがある。2019年にはNHKブタモリ関門海峡編に出演。



隆元の依頼で生前の元就を描いた肖像画



須佐地域の史跡案内ボランティアの会

会長 田 村 雅 利

## 通称「石州街道(仮坂道)」を伝承するために

NHK総合テレビの人気番組「プラタモリ」は、街歩きの達人タモリさんがプラプラ歩きながら、地域の自然や歴史などに触れる中で、話題の出来事や町に残された様々な痕跡にふれあいながら地域を再発見する番組です。

今から3年前萩市にもタモリさんが来られましたが、須佐までは足が延ばせなかつたみたいです。そんな番組の放映直後のこと、須佐公民館より公民館だよりの原稿依頼が舞い込んできました。公民館職員によると、タモリさんは来ないにしても、うちの町にはタムラさんがいる、田村さんに町を案内してもらおうと平成30年7月から始まったのが「ぶらぶらタムラのまち歩き」です。タモリさんのように面白くは出来ないものの、地域の史跡や名勝、言い伝えなどを連載物(原稿用紙2枚分)として任せました。そして、このコーナーも回を重ねること5月で35回を迎えます。

このコーナーを始めるにあたり、最初は身近な神社やお寺などから始まりましたが、その後地域の古老らに昔か

## 阿武海岸石州街道を絵図でたどる

つながり線になり、いつの間にか、須佐地域・田万川地域の自筆地図の上に文字として落とすことができました。

## 道なき道を辿りて

絵巻を作成するに当たり、手がかりに文献の一つである山口県教育会発行の「松陰と道」を片手に獣道となつて現地に足を踏み入れ、腰鉈で木の枝を切り払いながら、急坂で道なき道をさまよい歩く中で、昔から言われたり伝わる云われや伝説にまで幅が広がりました。そんな中において、地域の歴史の中で切つても切り離すことが出来ないのが、町と町をつなぐ道(古道)で、地域にはかつての古道の脇にあつたと思われる道の跡などが多く残されています。

中でも、萩から石見(島根県)にぬける古道は、島根県境の仮坂に到達するまでの道のりを仮坂道といい、この地域では石見(島根県)にぬける道は、すべて石州街道(本来は小郡から津和野境のこと)といい、昔は文化・歴史・産業の通り道でもありました。かの吉田松陰も何度もこの道を通ったといわれています。

## 伝承活動として

私が、公民館だよりで古道に関するテーマの原稿を執筆したのは、何度かあります。住民の皆さんには、文章は読むものの、今では通ることもできず、古道があることすら知らない世代になつているのが現状です。

そこで、どうにか地域の遺産として、この古道を絵巻として書き残すことはできないかと、古い文献や出版物を調べる中で、点(小字)と点(地域)が

## 「明倫館」と「育英館」の塾生交流の道

絵巻の作成をとおして思つたことの一つに、萩市内には藩校「明倫館」があり、そして須佐には郷校「育英館」があり、かつての吉田松陰ははじめ塾生たちは、相互交流のため、萩から須佐までの道のり約11里強(45km)を歩いたことを思うと、その向学心と熱意の大なることを考えさせられたところです。



# 双方の連携活動

地域を元気にする「ふらつとネット」

～自信と誇りにあふれる「日本一の中学校をめざして～



岩国市立平田中学校

校長 升 本 雅 巳

ふらつとネットキャラクター



ひらりん

スタートして、前述した本校の経営を効果的に進めていくためのツールとして、小学校とともにCS・地域協育ネット・小中一貫教育を融合させた運営を進めている。現在は、地域連携カリキュラムに基づき、「ふらつとネット」の知・徳・体の各部会において、小学校と合わせて60以上のプロジェクトを実施し、学校と地域との双方向の貢献活動を実践している。子どもたちは、実際に地域に貢献することで、これまで以上に達成感、自己有用感・自尊感情等をもてるようになってきている。この体制を構築した前校長をはじめ多くの教職員と関係者の皆様のご尽力に敬意を表したい。

## 中学生が地域を変える

昨年度、本校の生徒会長が生徒自らの反省に基づき、

さわやかなあいさつが飛びかう町・平田にしたいと立ち上がった。生徒会が地域一齊あいさつ運動を企画して、小学校と地域を巻き込み、コロナ禍でほとんどの地域行事がなくなる中、10月1日に実現させた。小学校と地域への呼びかけについては、すべて生徒会執行部が足を運び、直接お願いした。地域の方々も「中学生がそこまで考えているのであれば、我々大人が協力しないわけにはいかない」と大変喜ばれ、全面的な支援をいただきながら、ともに活動している。本年度は、

徳の部会のプロジェクトに位置づけて年間5回実施する予定である。この波は各自治会や保護者へと広がりを見せており、生徒の思いが地域の大人を変えつつある。さらに、この好循環の波が本校の生徒全體にも広がり、専門委員会が活性化し、校内での立ち止まつてのあいさつ、地域でのさわやかなあいさつに繋がるなど、生徒全体の意識も変容している。

この3年間、生徒の自治能力を高める取組を進めてきたことにより、生徒自身が自分たちの手で、常に高みをめざしたより良い学校・地域づくりを進めていくこうとする風土が醸成できつつある。それが本校の生徒の文化となり、地域を元気にしていく原動力となることを期待している。

## CS・「ふらつとネット」と小中一貫教育

本校は平成24年度に岩国市の「地域協育ネット」、平成26年に岩国市のCSに指定され、地域住民との交流活動を通して、「地域ぐるみで子どもを育む」を合い言葉として、地域との間に「Win-Winの関係」をつくりながら地域及び学校の活性化を図るために、「ふらつとネット」がはじまった。本活動は今年度で10年目となり、これまでに様々な相互交流がなされてきた。開かれた学校・信頼される学校・地域から愛される学校へと深化していることを実感できる取組を小学校とともに推進することを目的としている。令和2年度からは岩国市小中一貫教育が

「仲間をつくる」～自治能力を高め、自分たちの力によって「自信と誇りにあふれる日本一の中学校」づくりをする生徒の育成

「自分をつくる」～自己指導能力のある生徒の育成



地域一齊あいさつ運動

この3年間、生徒の自治能力を高める取組を進めてきたことにより、生徒自身が自分たちの手で、常に高みをめざしたより良い学校・地域づくりを進めていくこうとする風土が醸成できつつある。それが本校の生徒の文化となり、地域を元気にしていく原動力となることを期待している。

**6 平田中学校地区協議会「ふらつとネット」の取組**

**小中一貫教育を支える『ふらつとネット』 学校支援 & 地域貢献**

**活動スローガン：みんなで育てよう！ うちの子・よの子・ひらたの子**

**マスクキャラクター はやし丸 & ひらりん**

【図】「読み聞かせ」  
地域の読み聞かせボランティアによる学級ごとに読み聞かせを行う。

【図】「短歌教室」  
短歌協会の方々が、中学生2年の曲題に短歌の授業において、短歌の作り方などを指導する。

【図】「入試対策学習支援」  
地域住民が講師となって、放課後に中学生3年生を対象とした学習支援を行う。

【図】「夏季学習会」  
小・中学校教諭や中学生が講師になり、小学生の学習支援をする。中学生への学習支援がある。

【図】「公民館小学生講座」  
小学生用のキーボルダ作成講座などを中学生が支援する。(他3講座)

【図】「ふれあい集会」  
各学年で考えたゲームやクイズに児童が参加者が選択し、楽しむ。

【図】「岩国寿司作り」  
岩国寿司作りの岩国寿司作りの作り方を6年生に指導する。

【図】「花壇整備」  
学校花壇に、地域住民・生徒と一緒に花の苗を植える。(春・夏・冬の年3回)

【図】「生き花教室」  
地域の奉公の指導り、児童・生徒が生き花(ワカラヅケ)を行なう。年間3回を予定。

【図】「吹きのつどい」  
地区的吹きのつどいで、吹奏楽演奏・平田囃子舞踊に加え、運営の手伝いを行う。

【図】「地域一齊あいさつ運動」  
中学校生徒会が中心となり、地域住民・小学生と一緒にあいさつ運動を行う。

【図】「安全教育」  
登場会社の方々をお招きし、1年生が不審者に対する学習(安心教室)を行う。

【図】「水泳教室」  
水泳選手の方々により、5・6年生の希望者を対象に夏季休業中の4日間、水泳指導を行う。

【図】「料理実習」  
地域の食生活推進員の方々が、家庭科調理実習「郷土料理」の支援をする。

【図】「盆踊り大会」  
地域の盆踊り大会において、前日準備の手伝いを行う。

【図】「昔の遊び」  
小学生が地域住民から昔の遊びを学ぶ行事において、中学生がその運営を支援する。

【図】「地域芸能競争（平田囃子）」  
囃子保存会の方々が小中学生を指導し、地域の祭りなどで披露する。

【図】「プロジェクト数」(24)、うち小中合同(5)

【図】「プロジェクト数」(22)、うち小中合同(5)

【図】「プロジェクト数」(26)、うち小中合同(7)

【ふらつとネット概要】  
会員数：ボランティア活動 年間12回以上  
【はやし丸】：ボランティア活動 年間8回以上  
【ひらりん】：ボランティア活動 年間5回以上

こんにちは！  
マウンテンマウス  
まあしい（39）です！



## ふるさと☆家族☆先祖に感謝！

マウンテンマウス

中 谷 昌 史

【プロフィール】

星野哲郎先生に「ラッキー兄妹」と言わされて今年で活動21年目のマウンテンマウス兄まあしい＆妹まあちゃん  
マウンテン＝山 マウス＝ロ やまぐちふるさと大使として活躍中！

ふるさと山口県の魅力を音楽で世界に発信するん

じやと言う想いを込めて2000年11月に妹まあちゃん（35）とユニットを結成して活動し続けて今年で21年目に突入しました！

今年の2021年2月には【鶴瓶の家族に乾杯】山口特集スペシャル】では、妹と僕だけでなく、15年前の映像ではおじいちゃん＆お父さん＆お母さん、そしてリモートでは僕たちの子どもも一緒に出演させて

いた。このライヴでは僕たちの子どもも一緒に出演させてくれました。この映像ではおじいちゃん＆お父さん、そしてリモートでは僕たちの子どもも一緒に出演させてくれました。この映像ではおじいちゃん＆お父さん、そしてリモートでは僕たちの子どもも一緒に出演させてくれました。

今年の2021年2月には【鶴瓶の家族に乾杯】山口特集スペシャル】では、妹と僕だけでなく、15年前の映像ではおじいちゃん＆お父さん＆お母さん、そしてリモートでは僕たちの子どもも一緒に出演させてくれました。この映像ではおじいちゃん＆お父さん、そしてリモートでは僕たちの子どもも一緒に出演させてくれました。

と出来なくなつたライブは150～200。それを考

えていたら、これまたびっくり！

【出来なくなつた事は今まで自分がやつてきたプロフィールなんだ！】と言うことに気付くことが出来ました。

した。

そのライヴしてた空白の時間を昨年は島のご縁ある山を整える作業に没頭するということになりました。

茶色くなつた竹林を一本一本真心込めて整える事でその場所の空間が綺麗になつていきました。その場所に5歳の子どもの太陽と一緒に行くと「パパ、ここはディズニーのモアナがいそうな所だからキトリモアナだね」と言つてそれから一緒に整えるようになりました。大木や巨石、滝が出てきたりとみるみる山が蘇つて行きます。

そんな中でマウンテンマウスを結成して20周年の2020年にコロナ禍となり、様々な状況が変わつていきました。

・保育園＆老人ホームライブ＆施設訪問ライブが出来なくなつた。

・小中高校の講演＆ライブが全部キャンセルになつた。

・祭りやイベントのライブが全部キャンセルになつた。

・全国ツアーで行つていた場所に行けなくなつた。

・手を繋いだり、ハグしたり輪つかになつたりと、肌と肌で温もりを感じるライブやお昼寝ライブが出来なくなつた。

動いてくれることで、そんなことが出来るならと全国の仲間が「お母さんにプレゼントしたいよ！」「友だちへのプレゼントに！」と助けてくれました。

3月に下関市の神社の奉納演奏に波佐間清先生が応援に駆けつけてくれて見守つてくれてました。「漁師のまあしいが山を整えてる事はとても貴重な事だよ。山と海は通じて、これから更に大切になることだから応援してるよ」と激励のメッセージも頂いてぶち嬉しい心ワクワク感謝でいっぱいです。

山を整えながら英語の勉強でビートルズとカーペンターズを繰り返し暗唱して、山口弁に翻訳して歌えるようになりました。

・You Tubeが作れるようになった。

・竹炭や干しワカメが作れるようになった。

・ホシザメやアカエイも捌けるようになりタイやホウボウなどその時期捕れた魚を直接発送出来るようになりました。

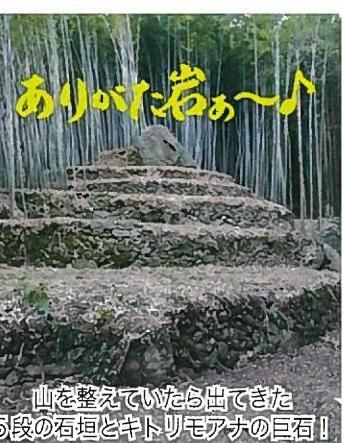
・フェイスブック配信ライブが出来るようになった！

・世界にたつた一曲だけの結婚＆お祝いソングをCDにしてギフトして喜んで貰えた。

出来なくなつた数だけ新しく出来るようになつた事が増え続けています。「漁師はのう、海に出て大漁じやつたら大自然に感謝じやー海に出てとれんかつたときは今までとれてた事に感謝じやー！」by漁師の父昌信

感謝ありがとうございます。

感謝ありがとうございます。



山を整えていたら出でてきた  
5段の石垣とキトリモアナの巨石！

こちらは  
You Tubeです！  
瀬戸内海豊漁万歳



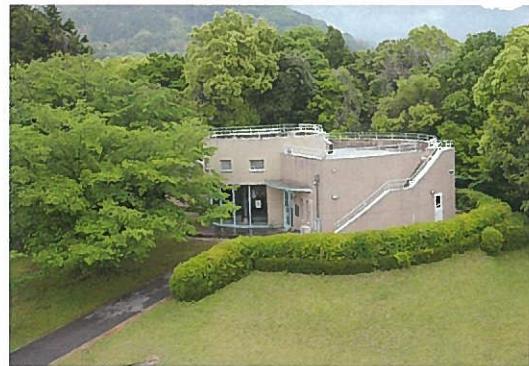


茶臼山古墳



円筒形埴輪

## 茶臼山古墳資料館



### 古墳発見から現在まで

明治25年（1892）茶臼山頂上付近で地元の二人の少年が偶然不思議な穴を発見し、消防組に通報。発掘を行つたところ鏡や埴輪などが見つかりました。

このとき発掘された出土品の中で、单頭双胴怪獸鏡（大鏡）は東京帝室博物館（現在の東京国立博物館）におさめられ、代償金として120円が支払われました。出土品は1600年前のものとわかり、その代償金で遺跡の石碑と茶臼山神社（現在、代田八幡宮に移鎮）を建て、古墳の主を祀りました。

昭和23年（1948）、国史跡に指定。平成2年（1990）から平成10年（1998）にかけて茶臼山古墳を園として整備するための工事が行われました。

古墳全体が葺石で覆われていたこと、1.8mの間隔で6種類142基の埴輪が立て並べられていたことなどがわかりました。また、埋葬施設（古墳の主を葬った場所）は二つありましたが、発掘していない方は石室かどうかわからないため現在も発掘されていません。

### 茶臼山古墳について

4世紀終から5世紀初めに造られた前方後円墳。全長90m、後円部径約55m、前方部幅45m。山口県では屈指の大きさを誇ります。熊毛王の墓とされていますが、埋葬されていたのが誰かはよくわかつていません。しかしながら、副葬品からは、相当の豪族

がいたようです。

墳丘は葺石で覆い土が流れ出ないようにする構造で、ベンガラで色づけした埴輪を規則的に並べている様式など独特な感じがしました。古墳時代さながらの姿に復元されている事例は全国的にも珍しく、兵庫県神戸市の『五色

塚古墳』など僅かな例しかありません。

### 日本最大の大鏡



古墳公園全景

入館するとまず、目を引くのは復元された埴輪です。円筒形、壺形、蓋（きぬがさ）形、器台形、家形、朝顔形の6種類の埴輪が展示されており、大きさや形に驚きます。埴輪の復元には、破片の表面に付いた土を洗い落とす。破片ごとに番号を付け出土した場所などを記録する。形や色などから位置を判断し、接着する。石膏で欠けた部分を補い、全体の形を造る。という作業があり、一つの埴輪の復元に一ヶ月程度かかります。また、古墳全体を覆っていた葺石は、古墳が発見された当時はほとんど流失してましたが、復元の際には、発掘したときの石をたくさん使っています。

こうした、埴輪、葺石の復元についてパネルで紹介しており、復元の仕方、大変さを知ることができます。

次に、直径44.8cmある、单頭双胴怪獸鏡（大鏡）が目に留まります。古墳から出土した鏡では日本で最大のものです。レプリカではありますが、その技術の高さ、重量感を感じることができます。

そのほか、鉄刀、鉄劍、勾玉などの装飾品の展示、ビデオ、パネル、模型等で茶臼山古墳の解説をしています。

年間30000人から34000人の来館者があります。小学校の遠足や社会見学で来館した児童は古墳の大きさに驚くそうです。

### 資料館を出ると

復元された古墳は、登ることができ、墳頂からの眺めはとても

よく、柳井の市街地や瀬戸内海の島々を一望できます。春に

は園内の桜も咲き、お花見も楽しめそうです。茶臼山古墳周辺

には、古墳をはじめ、31の遺跡

があり、柳井市・田布施町・平

生町は歴史好きの人にとって興味をひかれる場所だと思いま

す。古墳が好きで仙台から来館された方もありました。古墳工

りアを巡る探索も面白いと思い

(1) 古代から使われてきた顔料の一つ。土からとれる酸化鉄が主な成分

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始

資料館開館時間：午前10時～午後4時30分

入園・入館料：無料

駐車場：約15台

所在地：柳井市柳井字向山305

アクセス：柳井港駅より徒歩15分／柳井駅より大屋東行きバス終点下車

※資料館開館時、介助の必要な人には、駐車場にインターフォンが用意されています。



单頭双胴怪獸鏡（レプリカ）



## 挑戦の歩みを忘れずに

周南新南陽支部  
田中 壽男

定年退職して7年目を迎えた。最近、体力の低下、通院回数の増加、T Vの登場人物名が出てこない等、気にかかる事が増えてきた。「まだまだ若いのに何だ」と、諸先輩に叱られそうだ。  
ところで、日頃から大事にしたい言葉がある。それは「挑戦」という二字だ。自分のこれまでの歩みを振り返えると、年齢を積み重ねるに従つて、これくらいでいいかと、満足してしまってることがよくあつた。  
現状に甘んじてしまえば、成長が止まる。「挑戦」の歩みを続けることで、自分らしく輝き、楽しい人生を送ることができる。だが、「挑戦」をするには「目標」が不可欠。「目標」があれば、夢や希望が生まれる。



登校時の見守り活動

三つ目は、「地域ボランティア活動」だ。在職中は忙しさを理由に、地域への関わりは十分でなかつた。昨年度から「朝の児童の見守り活動」を目標に償いをさせてもらつていて。また、2年間、自治会の役員を担当したこととした。この取組みを通して、地域への恩返しや人間関係づくりへの一助となればと考えている。

「夢こそ力」「希望こそ力」の気概で「挑戦」の歩みを続けていきたい。

た。退職後、時間的ゆとりが出てきたので、「ドイツ語検定3級合格」を目標にNHKのラジオとテレビを通して学んでいる。頭を鍛える良い機会と思い、楽しんでいる。昨年冬に5級を取得したので、今年の夏に4級を受験予定だ。ちなみに「英語は達者なのか」と聞かれたら恥ずかしくて何も言えない。

4級を受験予定だ。ちなみに「英語は達者なのか」と聞かれたら恥ずかしくて何も言えない。

5級を取得したので、今年の夏に4級を受験予定だ。ちなみに「英語は達者なのか」と聞かれたら恥ずかしくて何も言えない。



## 「劇団演劇街」に入団して

山口支部  
大崎 芳嗣

退職時の記念にと国民文化祭の創作劇「トライアングル」のオーディションを受け出演した。その後「年配の役者が必要」と劇団演劇街の柳沢悟氏から勧誘されて入団し、早くも15年過ぎた。

記憶力の衰えた身にとつて台詞を覚えることには苦痛を伴う。役のキャラクター、感情の起伏や表出の仕方、舞台での動線等々素人にとっては分からぬことだらけである。

「そのセリフは硬質に、語尾を飲み込まないようにして!」「そこは相手を見て対峙しながら重心は両足にかけて」「そこは首だけ回して後ろを見る」「動く、逃げる、止まるときはつきりしながら」「もつと狂気性を強く出して!」等々毎回毎回ダメ出しの連続である。樂ではないが、柳沢氏をはじめ、若き劇団員の演劇に対する情熱に接するとき「少しでも若者の支えになることが出来れば」との思いで続けている。しかし、現実は若い人の足を引っ張り、逆に彼らのエネルギーに元気をもらつていて。そのお陰で15年も続けてこられた。

本当にありがたいことである。

その間、モリエール、シェークスピア、チエーホフ、別役実、森本薫の作品や劇団作家山下朱実氏の創作劇「宮沢賢治の世界」(星巡りの歌によせて)、「ママの帰る家」(さつきちゃん



んシリーズ(こども劇場として毎年新作発表)等々多数出演できた。と言つても端役であるが(笑)。なかでも山口市芸術センターで公演した山下氏作の「パパはロボット」「ユニイク」「ゴーシュ(セロ弾きゴーシュより)」は心に残る作品で特に思ひ出深い。

何回も何回も稽古して本番をを迎え、心に余裕のないまま登場し、失敗をしながら冷や汗をかいて、それでも何とか役をこなし、幕が下りて盛大な拍手が聞こえる時、肩の荷が下りてほつとする。

その瞬間が私の潤いである。

# 教職時代を偲ぶ



下関支部  
松本 正子

昨年3月、名池小学校を最後に38年間の教職生活にピリオドを打ちました。コロナ禍の中で、退職してからこの1年、旅行に行つたり友達と飲みに行つたりするような機会もほとんどありませんでしたが、そのぶん、時間だけはたっぷり生まれました。

そこで身の回りの整理をすることにしたのですが、いざやり始めると、教員時代の写真や手作り教材など思い出のものが次々現れ、そのたびに手が止まり、なかなか片付けがはかどりません。その中で、新採のころに書いたメモが出てきました。「初めての参観日、子どもの後ろにずらつと並ばれた保護者の顔を見ると、みんな私のことを評価されているようを感じる」と走り書きしてあり、参観日のたびに心臓がバクバクし、緊張して授業をしていました。

手書きの地域教材も発見しました。総合的な学習の時間が始まつて、初めて公開授業することになり、どこからどうやつて手を付けたらよいかさっぱりわからず、試行錯誤した跡が見られます。自分が習つたこともない授業を公開することで、最初は不安だらけでしたが、不思議なもので、いざやつてみるとだんだんおもしろくなり、結果的に総合学習が一番好きな領域になりました。

人は、先の見通しが立たないときは不安でしょがないかもしれません。失敗もたくさんします。でも、それを乗り越えると、次に同じことをやつても「心のゆとり」が生まれてきます。私自身も、若いころは経験が少なくてキドキドキしていたことが、周りにおられる先輩や地域の方々、保護者や子どもたちにたくさん支えていたおおかげで、何とか乗り越えることができ、退職

まで教員を続けることができたと感じています。

一方、仕事と家庭の両立で「時間のゆとり」がなかつた私は、親としてついぶん強引な子育てをしてきました。自分の子どもがやることをじっくり待つことができず、常に先回りしてレールを敷き、指示命令ばかり。そのレールからはずれると、「お母さんが言つたとおりにしないから、こんなことになつて…」とまた小言。社会人として自立した我が子から、「あの頃のお母さん、怖かった」と言われたことがあります。猛反省したことを見出しました。経験を積んだ今なら、当時の自分に対する「そこをがまんしてじつと待てば、子どもは自分でできるようになるよ」なんて、声をかけることもできるでしょう。

最近は、若い先生や保護者の方から相談を受ける機会が多くなりました。皆さん、子どもがこの先どんなふうになっていくか心配で、その対応に不安をもつておられるようです。中には、難しい問題もありますが、ちょっととゆとりをもつて子どもの声に耳を傾ければ、解決できることもたくさんあります。私が今までしていただいたお返しに、これからは、日々忙しい学校現場の先生や、子育てで奮闘しているお父さん、お母さんが「心のゆとり、時間のゆとり」を持てるようになります。

最近、家にいる時間が増えたので、念願だつた猫を飼い始めました。この原稿を作つてある最中にも、パ

ソコンの上に乗つて邪魔されたり、足をひつかかれた

りしていません。

## (一財)山口県教育会 参与会

4月26日（月）  
山口県教育会館

河村志郎 様 (山口) 菊野良 様 (周南徳山)  
舛谷晃 様 (山口) 久保田尚 様 (周南徳山)  
吉富郁子 様 (山口) 秋山久夫 様 (周南徳山)  
中司誠二 様 (山口) 伊藤充哉 様 (長門)  
浩之 様 (防府) 村田利樹 様 (防府)  
山本俊光 様 (防府)

## 終身会員の紹介



原稿を狙う猫

手書きの地域教材も発見しました。総合的な学習の時間が始まつて、初めて公開授業することになり、どこからどうやつて手を付けたらよいかさっぱりわからず、試行錯誤した跡が見られます。自分が習つたこともない授業を公開することで、最初は不安だらけでしたが、不思議なもので、いざやつてみるとだんだんおもしろくなり、結果的に総合学習が一番好きな領域になりました。

人は、先の見通しが立たないときは不安でしょがないかもしれません。失敗もたくさんします。でも、それを乗り越えると、次に同じことをやつても「心のゆとり」が生まれてきます。私自身も、若いころは経験が少なくてキドキドキしていたことが、周りにおられる先輩や地域の方々、保護者や子どもたちにたくさん支えていたおおかげで、何とか乗り越えることができ、退職

## 報告

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第1回通常理事会（5月28日）を中心し、次の議案第1号から第4号を「書面表決書」によって表決していただきました。

第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案

令和2年度事業報告及び決算について  
令和2年度公益目的支出計画実施報告書について  
令和3年度定時評議員会の開催について  
支部規約の一部改正について

第4号議案